

2019年5月14日

長岡京市長 中小路健吾 様

日本共産党長岡京市会議員団
団長 小原明大

「O-157」感染事案に関する申し入れ

滝ノ町保育所の園児5名からO-157の感染が確認され、1名の幼く尊い生命が失われたことは痛恨の極みであり、心から哀悼の意を表します。

園児とその保護者をはじめ、市民の不安を少しでも軽減するとともに、今後同様の事案が起こることを防止し、もし起こっても被害を最小に食い止めることができるように、以下の対策に取り組まれるよう強く要望します。

記

1. 滝ノ町保育所の園児・保護者・職員・関係者の不安や要望を十分に聞き取ること。専門家の継続した配置による園児の心のケア、感染防止対策の徹底、担任が十分に園児や保護者対応に専念できる体制も含め、必要な人員体制の強化を行うこと。
2. 滝ノ町保育所だけでなく、公立・民間を問わず、保育所・幼稚園・小中学校・学童保育クラブ等、不特定多数の子どもを受け入れる全ての施設について、改めて保健所も入ったのチェックを行い、安全対策の実施と、必要な施設改修の計画を立てること。調理室等のある公共施設についても、安全対策を再点検すること。
3. 乳幼児の異変にいち早く対応できるよう、保育所・幼稚園については、看護師の常勤配置を行うこと。
4. 保育所・幼稚園・小中学校・学童保育クラブについても、他の公共施設と同様、専門業者による清掃を十分に行うこと。
5. 今回の教訓をふまえ、O-157感染や食中毒事案の再発防止および、万が一再発した場合の対応についても改めてマニュアルを整備すること。
6. 市としての再発防止の対策を市民に報告し、不安を軽減するとともに、感染防止対策についても改めて啓発を行うこと。

以上